

V. L., Fl. Manshuriae, 3: 413-417, (1907); Ledebour C. F., Fl. Altaica, 2: 439-443. (1830-a); Icon. Plant. Imperf. Cognit. Fl. Rossicam Impr. Altaicam, 2: 18, tab. 156. (1830-b); Fl. Rossica, 3: 214-222. (1847); Linnaeus C., Sp. Plant., 2: 619-621. (1753); Makino, T., in Tokyo Bot. Mag. 12: (226), (1898); 20: 4. (1906); in Iinuma, Sô-moku-Dzusetsu, 3: 856-857, tab. LIV-LV (1912); Illust. Fl. Nippon: 151, tab. 451-453. (1940); Matsuda S., in Tokyo Bot. Mag., 28: 38. (1914); Maximowicz C. J., Fl. Asiae Orient. Fragmenta, 34-38, (1879); in Bull. Acad. Imper. Sci. St-Petersbourg, 26: 501 (1880); Miquel F. A., Ann. Mus. Bot. Lugduno-Batavi 2: 115-116 (1865); Prol. Fl. Iaponicae: 47-48, (1866); Miyabe K, et Miyake T., Fl. Saghalin: 342-343 (1915); Nakai T., in Tokyo Bot. Mag., 23: 189 (1909); Flora Koreana, 2: 118 (1911); Rep. Veget. Diamand Mount. Corea: 184, tab. 5-i (1918); Rep. Veget. Isl. Dagelet Corea: 25 (1919); Fl. Sylvat. Koreana, 14, 69 (1923); Journ. Japanese Bot., 14, 631-637 (1938 Otc.); Oliver D., in Journ. Linn. Soc., 9: 167 (1867); Reichenbach L., Fl. Germanica: 376-378 (1831); Icon. Fl. Germ. Helvet., 20: 24-27 tab. MDCLXXI-MDCLXXVI (1862); Sasaki S., List. Pl. Formosa: 369 (1928); Schmidt Fr., in Mem. Acad. Imper. Sci. St-Petersbourg, 12: 162 (1868); Sprengel C., Syst. Veget. 2: 619-621 (1825); Stiefelhausen H., in Engl. Bot. Jahrb. 44: 406-496 (1910); in Abhandl. Bot. Prov. Brandenburg, 53: 26-28 (1911); Turczaninov N., Fl. Baical. Dahur. 2: 303-305 (1850); Ueki H. et Sakata T., in Act. Phyt. Geobot., 7: 16 (1938 Feb.); Wettstein R., in Engl. Pflanzenfam., 4-3-b: 65 (1897).

○植物採集覽書 (其八) (奥山春季) — S. OKUYAMA, Tentative list of plants for collectors (8)

茨城縣

○潮來

植物 [單] センニンモ, ササバモ, ミヅヒキモ, ヤナギモ, エビモ, ヒロハノエビモ, イバラモ, アギナン, ジヤウラウスゲ, オニスゲ, シホクグ, オホハリキ, クロダワイ, ヒメホタルキ, マツカサススキ, トラノハナヒゲ, ヒロハノカウガイゼキシヤウ, タチカウガイゼキシヤウ, サギサウ, ミヅトンボ. [離] ホソバノウナギツカミ, カハホネ, ジュンサイ, ムジナモ, エゾミソハギ, [合] サハトラノヲ, ヒメナミキ

文献 鈴木靖: 常陸國潮來附近產植物 植雜 15: 250-255, 271-275 (1901)

○鹿島神宮

植物 [羊] ヘラシダ, イハヒメワラビ, ホソバカナワラビ, ウラジロ, オホハナワラビ, ミヅニラ. [單] クサドウ, スナシバ, ワセヲバナ, ケカモノハシ, ハマアオスゲ,

コウボフムギ, コウボフシバ, ビロウドテンツキ, ノグサ, ヤブメウガ, ヒラキ, フウラン, シラン, ヒメフタバラン, ヤウラ克蘭, ベニカヤラン, クモラン. [離] ウラジロガシ, スダジヒ, アカガシ, トキホコリ, ラセイダサウ, フヂナデシコ, イヌグス, シロダモ, コマウセンゴケ, トペラ, ハマエンドウ, ハマビシ, フモトスミレ, ミヅユキノシタ, ツボクサ, ハマバウフウ. [合] イヅセシヤウ, カラダチバナ, マンリヤウ, ハマヒルガホ, スナビキサウ, ウンラン, ハマウツボ, アリドホシ, マツムシサウ, ヒナギキヤウ, サハギキヤウ, ハマグルマ, シウブンサウ, ハマニガナ, ヌマダイコン.

文献 水戸博物学会: 鹿島神宮境内及び其附近植物目録 茨城博 9; 1-39(1938)

○筑波山

原産植物 *Cynanchum nipponicum* Matsum. ツクバノカモメヅル 植雑 12; 39(1898). *Carex hirtifructus* Kükenth. [ツクバスゲ] Bull. Herb. Boiss. 2 ser. 5; 1163(1905). *Ajuga yezoensis* var. *tsukubana* Nakai [ツクバキンモンサウ] 植雑 25; 151 (1911). *Elaeagnus tsukubana* Makino ツクバグミ 植研 3; 25(1926). *Polygonatum silviculum* Makino ヤマナルコユリ l.c. 26(1926). *Vitis flexuosa* var. *tsukubana* Makino ウスゲサンカクヅル l.c. 26(1926) *Chrysanthemum marginatum* var. *flavo-radiatum* Makino サトイソギク l.c. 4; 4(1927) 栽植. *Saxifraga sarmentosa* var. *aptera* Makino ホシザキユキノシタ l.c. 3; 43 (1927). *Aster ageratoides* var. *adustus* f. *leucanthus* Honda シロバナノコンギク 植雑 44; 670(1930) *Pleioblastus tsukubensis* Nakaki ツクバザサ 植研 10; 215 (1934). *Sasa tsukubensis* Nakai ツクバザサ (同名あり) l.c. 11; 86 (1935). *Sasamorpha purpurascens* var. *macrochaeta* Nakai ツクバスズ l.c. 75 (1935). *Saussurea tsukubensis* Nakai ツクバヒゴタイ 植雑 49; 422 (1935). *Liparis Kumokiri* F. Maekawa クモキリサウ 植研 12; 95(1936). *Lonicera tenuipes* var. *tsukubana* Satake ツクバウグヒスカグラ 植研 14; 264(1938). *Arundinaria Tsurumataniana* Koidz. ツクバシノ 植分 8; 114 (1939). *Sasa tsukubanantaicola* Koidz. ホソバツクバスズ l.c. 193 (1939). *Arundinaria tsukubensis* Koidz. ヒタチシノ l.c. 9; 77(1940). *Gentiana Zollingeri* f. *albiflora* Tuyama シロバナフデリンダウ 植研 16; 502 (1940). *Ixyoungia Yendoi* Kitamura オニヒメヂシバリ 植分 11; 131 (1942). *Cinnamomum Camphora* var. *rotundifolia* Makino マルバグズ Makino 8; 150 (1943) 筑波神社

植物 [羊] カウヤコケシノブ, コガネシノブ, イハトラノワ, コバノヒノキシダ, オホイダチシダ, オホミヤマイヌワラビ, ナンタイシダ, スギラン, [單] ハヒチゴザサ, アヅマザサ, ミヤマスズ, アヅマスゲ, ヒナスゲ, ヤマナルコユリ, ヒトツボクロ, ムカゴサウ, ミヅトンボ, フタバラン [離] アカガシ, ツクバネガシ, ウラジロガシ, イタビカヅラ, ツクバネ, ヤマトグサ, ワチガヒサウ, トウゴクサバナノヲ, ゴエフアケビ, シキミ, タブノキ, シロダモ, マルバコンロンサウ, イヌザクラ, ミヤマザクラ, オホヤマザクラ, リンボク, ミヤマフユイチゴ, ジヤケツイバラ, フデキ, ウチダシミヤマ

シキミ、フユザンセウ、モチノキ、ヒトツバカヘデ、ヒサカキ、サカキ、コセウノキ、タカノツメ、ツボクサ・[合] マルバイチヤクサウ、トウゴクミツバツツジ、キヨスミイボタ、ヤブシロ (本草図譜)、ジャカウサウ、イハタバコ、ニシキウツギ、フジテンニンサウ、キヌダサウ、ツルアリドホシ、ハクサンロミナヘシ、オホモミヂガサ、サハシロギク、シウブンサウ。

文献 三好孝: 筑波山植物採集畧記 植雑 5; 153-156(1891) 同採集植物目録 1.c. 156-158 (1891) 松村任三: 「植物採集便覧」141-158 [筑波山の部](1900) 栗野宗太郎: 筑波山採集記 理學界 14; 310-312(1916) 本田正次: 筑波山の植物二三に就いて 理科教育 10-12; 76-78(1927) 笹岡久彦: 筑波行 理學界 37; 44-46(1929) 畠山久重: 五月の筑波山 理學界 31; 429-432(1933) 鶴町猷: 筑波山の樹木 茨城博 1; 10-15, 2; 23-27(1934)。

○袋田藩・久慈 男體山

原産植物 *Tripogon longearistatus* var. *japonicus* Honda フクロダガヤ 植雑 41; 12(1927) 植物 [羊] イハオモダカ、ホテイシダ、シノブ、イハデンダ、フクロシダ、ヤシヤゼンマイ・[單] ホガヘリガヤ、ホソバナアマナ、ステコビル、ヤマナルコユリ、ヤマデノホトトギス、ヒアフギ、サイハイラン、ウテフラン、ヒナラン、ヤマトキサウ、ムギラン・[離] ミヤマイラクサ、イチリンサウ、カラスザンセウ、フモトスミレ、ヤマグルマ、スハマサウ、チャウジザクラ、ジャケツイバラ、ハヒメドハギ、マツバニンジン・[合] アブラツツジ、トウゴクミツバツツジ、マンリヤウ、カメバヒキオコシ、キヨスミウツボ、イハタバコ、キヌダサウ、オヤリハグマ、マハズハハコ。

文献 斎藤卯内: 「久慈 男体山の植物」 茨城博 12; 26-31(1939)。

群馬 縣

○尾瀬地方 (福島縣領をも含む)

原産植物 *Andromeda polifolia* var. *leucantha* Takeda シロバナノヒメシヤクナゲ 植雑 24; 109 (1910) 燧岳 *Berberis amurensis* var. *brevifolia* Nakai マルバメギ 植雑 43; 441 (1929) 至佛山 *Cirsium homolepis* Nakai ラゼヌマアザミ 植雑 44; 534 (1930) *Japonolirion osense* Nakai ラゼサウ 1. c. 22 (1930) 至佛山 *Sasa oseana* Makino ラセザサ 植研 7: 32 (1931) (nom. nud.) *Sasa paniculata* var. *oseana* Makino ラセザサ 1. c. 8; 43 (1933) *Erigeron heterotrichus* Hara ジャウシウアヅマギク 植研 11; 827 (1935) 至佛山 *Calamagrostis grandiseta* var. *brevi-aristata* Honda シブツノガリヤズ 植雑 49; 699 (1935) *Veratrum longebrotracteatum* var. *atropurpureum* Honda ムラサキタカネアラヤギサウ 1. c. 700 (1935) 至佛山 *Festuca rubra* var. *hondoensis* Ohwi ヤマオホウシノケダ 植分 5; 51 (1936) 至佛山 *Cirsium Okamotoi* Kitamura Comp. Jap. 1; 133 (1937) 菖蒲平 *Inula ciliaris* var. *glandulosa* Kitamura 1. c. 266 (1937) *Leontopodium Fauriei* var. *angustifolium* Hara et Kita-

mura ホソバヒナウスユキサウ 武田久吉:「高山植物図彙」ed. 2, 8 (1937) *Rhamnus senanensis* var. *parvifolia* Honda ラゼノクロウメモドキ 植雑 51; 94 (1937) *Struthiopteris castanea* var. *viridipes* Honda アラヂクミヤマシシガシラ l. c. 644 (1937) *Nuphar ozensis* Miki ラゼカハホネ 山城水草誌 86, f. 50 K-T (1937) *Eriocaulon atroides* f. *nanum* Satake ラゼイヌノヒゲ 大日植誌 Erioc. 73 (1940) *Phragmites communis* f. *pilifera* Ohwi ケヨシ 植分 10; 266 (1941) *Saxifraga Fortunei* f. *rubrifolia* Honda ウラベニダイモンジサウ 植雑 56; 17 (1942) 至佛山 *Ranunculus grandis* var. *ozensis* Hara ラゼキンパウゲ 植研 19; 360 (1943) *Epimedium coelestre* Nakai クモキイカリサウ 植研 20; 73 (1944) 至佛山 *Allium Schoenoprasum* var. *shibutsuense* Kitamura シブツアサツキ 植雑 59; 35 (1946) *Euphorbia togakusensis* var. *ozensis* Hurusawa ラゼヌマタイゲキ 植雑 60; 72 (1947)

植物 [羊] ヤマハナワラビ, ミヤマシダ, オホメシダ, ミヤマヘビノネゴザ, オホミヤマイヌワラビ, オシヤグジデシダ, ミヤマシシガシラ, ミツドクサ, ヌマドクサ, ヒメスギラン, ヤチスギラン, コゲスギラン, ヒメミヅニラ. [裸] オホンラビソ, エゾマツ (武田博士), ミヤマネズ, ハヒマツ. [單] ヒロハノエビモ, ホロムイサウ (南限), ホソバノシバナ, カニツリノガリヤス, ミヤマノガリヤス, チシマガリヤス, カラフトドゼウツナギ, ヌマガヤ, イハスゲ, ハクサンソゲ, オホカサスゲ, ラゼヌマスゲ, ヒメカハツスゲ, タテヤマスゲ, ホロムイスゲ, クモシバスゲ, ヌイオスゲ, クマノハナヒゲ, ミヤマホタルギ, オホフトギ, タカネクロソゲ, クロアブラガヤ, ミヤマホソカウガイゼキシヤウ, エゾホソギ, ミヤマゼキシヤウ, タカネスズメノヒエ, ミツバセウ, ニツクワウキスゲ, キヌガササウ, オホバユキザサ, ウラゲコバイケイ, ヒアフギアヤメ, サハラン, コアニチドリ (南限), コイチエフラン, アケボノシユスラン, ヒロハツリシユスラン, テガタチドリ, ミヤマフタバラン, コフタバラン, ハクサンチドリ, ミツチドリ, コバノトンボサウ, キソチドリ, ホソバノキソチドリ, トキサウ [離] ミヤマヤナギ, トカチヤナギ, キンメヤナギ, ヤチヤナギ, ヤハズハンノキ, タニガハンノキ, ミヤマハンノキ, コブニレ, タカネスイバ, カトウハコベ (至佛山), タカネナデシコ, コバノツメクサ, ハクサンイチゲ, リウキンクワ, コシデミツバワウレン (至佛山), シラネアフリ, イトキンパウゲ, トガクシシヨウマ, コマクサ (巖岳), ウメハタザホ, (至佛山), ハクセンナヅナ, ナガバノマウセンゴケ (南限), サジバマウセンゴケ, アラシグサ (巖岳), ヤシヤビシヤク, コマガタケスグリ, フキユキノシタ, クロバナラウゲ, ミヤマキンバイ, タカネザクラ, チシマザクラ (館脇博士), タカネイバラ, オホタカネイバラ, ゴエフイチゴ, ヒメゴエフイチゴ, テングルマ, ムラサキツリバナ, クロビイタヤ, ミヤマツボスミレ, オホバタツボスミレ (南限), カラスシキミ, ミツスギナ, スギナモ, ハクサンサイコ, ミヤマウキキヤウ, ミヤマアブニンジソ, ハクサンパウフウ, オホカサモチ. [合] ヒメシヤクナゲ, コメバツガザクラ, ハリガネカヅラ,

シラタマノキ、ミネズワウ、ベニサラサドウダン、ヒメツルコケモモ、ツガザクラ、シヤクナゲ、ウスキシヤクナゲ、コメツツジ、コツマトリサウ、ヤナギトラノヲ、オホサクラサウ、イハイチャウ、ダウヤクリンダウ、エゾリンダウ、ホロムイリンダウ（武田博士）、ミツガシハ、エゾムラサキ（野化）、ホソバコゴメガサ、ヨツパンシホガマ、オニシホガマ、ユキワリシホガマ、オニク、コタヌキモ、オホアカネ、ミヤマシグレ、ヒメシヤジン、チャウジギク、ウサギギク、サハオホノアザミ、ミヤマカウヅリナ、ミツギク、ヲタカラカウ、マルバダケブキ、シラネアザミ

文 献 早田文藏：南会津竝ニ其ノ附近ノ植物 植難 17；8—9（1903）同 A list of Plants collected in Aizu.『会津植物目録』l. c. 27—36（1903）武田久吉：尾瀨紀行 山岳 1—1；119—138（1906）同：尾瀨再探記 l. c. 19；1—25（1925）館脇操：尾瀨をめぐりて 山岳 19；25—80（1925）飯柴永吉：尾瀨方面植物目録 フロラ No. 17；1—6（1929）星大吉：福島縣南会津郡植物目録 斎藤報恩会博物館時報特輯号 4；1—24（1933）文部省：「尾瀨天然紀念物調査報告」（1933）奥山春季：尾瀨地方産すげ属植物 植研 11；662—663（1935）同：尾瀨至佛山採集植物目録 自然科博 7—7；12—16（1935）館脇操：尾瀨地方の植物「尾瀨と日光」117—123（1941）三宅徹：尾瀨ヶ原採集記 日大中学校校友会誌 26；31—44（1941）

○キバナバラモンジンを語る（久内清孝）——K. HISAUCHI, Japanese name of: *Scorzonera hispanica*.

終戦後各処に出入自在な地域が出来、出入が合法的かどうかは別として、兎に角色々なところが見通しがきく様になった。そのため、キバナバラモンジンがちよいちよい眼にふれる。しかしこの草が戦後に来たものとも思われず、前からぼつぽつあつたもので、東大構内などでも、かなり古くから知られていた。田中徳氏の「天皇と生物研究」などにも皇居内吹上に沢山生えていることが記されている。ところで、この学名がなんであるかということになると、一寸面喰わざるを得ない。東大にある、故松村博士の手記があり、当時植物園で栽培されていたものを圧して作った標本（1878）によれば、まぎれもなく、名実共に正しい *Scorzonera hispanica* L. であつて、和名はキバナノバラモンジンとなつて居る。そうして植物名彙第 1 版（1886）では、ギバナバラモンジンとなり、ノの字が畧され、福羽逸人氏の蔬菜栽培法（1893）にはキクゴボウとあり、植物図鑑第 1 版（1925）ではイスペインバラモンジンなる新名が與えられ、キバナバラモンジンの名は *Tragopogon pratensis* L. に移され、植物園種子目録（1940）なども、同様になつてゐる。そこで、現在帰化しているものはなんであるかという、明かに *T. pratensis* L. であり、現在では、これがキバナバラモンジンと呼ばれている。しかし私が廻行し得る最古のもので、この名で呼ばれたものが、上記の通り、東大標本だとすれば、キバナバラモンジンは *S. hispanica* でありこれを図説したものは、たとえば、その図が、外国書